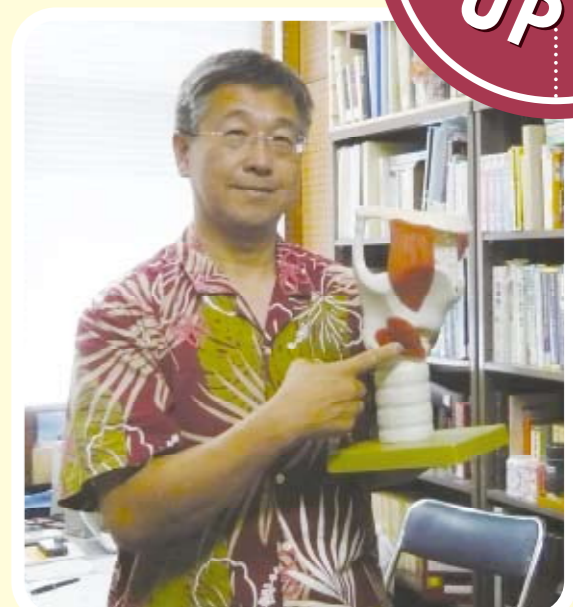
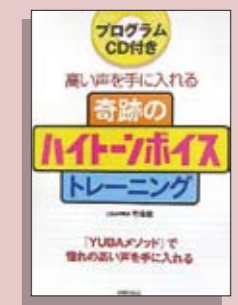


自著を語る。



弓場 徹先生 教育学部

「高い声を手に入れる」奇跡のハイトーンボイストレーニング



〈主婦の友社 2004〉
〔所在〕 図・開架・図書
〔請求記号〕 767.1/Y 96

どついたら歌がもっとうまく思い通りに歌えるのか？科学的根拠に基づいた新発声法「YUBAメソッド」を開発し、世界ではじめて音痴矯正に道を開いた弓場先生にお話をうかがいました。

■どついたらもっとうまく歌えるようになる？先生の研究について教えてください。

僕の研究の基本部分は3層になってるんですよ。まずは、僕が創設した「発声機能解剖生理学」で、どのように声が出ているかを新たな視点から研究するための学問です。この上に、どんな声を真似させるとどの筋肉が働き発声機能をうまくコントロールできるのか、という「YUBA理論」（発声機能制御理論）を構築しました。そして、この「YUBA理論」の上に、効率よく発声するための実践法「YUBAメソッド」があります。現在では、この3層からなる研究を土台として、その上に色々な実践的応用研究を展開しています。

■教え方がみんな違う、おかしい。学生時代はどんな学生だったのですか？

周りからは、変わり者だと思われていたと思います。体

という科学の上に成立しているものだとこのこと。オモテ声を徐々に高くしていくと、途中でコロッとウラ声にひっくり返るところがあります。ここを換声点と言います。音が外れたり、音質や音量が変わったりしてしまいます。ですから、「YUBAメソッド」では、換声点を消すために、ウラ声を作る機能とオモテ声を作る機能を協調させ、声を楽器として作り上げることが最も重要なことだと考えています。

「YUBAメソッド」で身につける6つの発声能力

1. 広い音域を楽に歌える
2. 音量を自由にコントロールして歌える
3. 正確な音程で歌える
4. 一息で長く歌える
5. 明確な発音で言葉のニュアンスを的確に表現して歌える
6. 音色の変化を自由につけて表情豊かに歌える

人工内耳装用者は音程通りに歌えないとされていますが、東京大学医学部附属病院でのこのメソッドを用いた研究により、かなり歌えるようになることがわかってきました。これもYUBAメソッドだからできることの一つです。

■大学発。日本中、世界中へ。これからの展望をお教えてください。



地道にメソッドを教えて広めていくだけでは、なかなか日本中、世界中の多くの人々が使えるようにならないので、DVDやCDを製作しています。年内にも、大学発ベンチャーで、ネット上のコンテンツ配信も行う予定です。基礎研究もある程度

の重心が的確に感じられれば効率よく体をコントロールできるので、声を出すのにプラスだろうと考えて、一輪車に乗って通学していました。だから僕の同級生は大体、一輪車の弓場で記憶しかなかったようです。それから、尊敬する声楽の柴田陸教授の家に毎日のように入り浸っていました。「真に学びたい者は、偉大な人物の前に座れ」という格言が的を射ていると考えていました。この先生の傍にいた時は芸術的に深い感動が得られました。

学部時代は、音声障害を患っていたため発声機能について知ろうと医学書など発声関連の本をよく読んでいた。で、人の発声機能は皆同じだと見定めていました。だから、「声を集めて飛ばせ」「音を回せ」「顔面の響きを保つて」「息をコントロールして」など、先生によつて歌の教え方が違うのは根本的にどこがおかしいかと思っていました。

■科学の上になり立つ、これまでと違ったメソッド。改めて、YUBAメソッドについて教えてください。

先に述べたように、僕の発声メソッドは、「発声機能解剖生理学」や「発声機能制御理論」つまりYUBA理論で行ってきましたし、応用研究も現実に形になるところまできて、今度はそれを大きく広げていく段階です。それから、脳の研究を始めています。話している時と歌っている時とで脳のアクティビティがどれくらい違うのかなど。今の段階ではまだわかりませんが、将来、歌うことが認知症の予防や改善に役立つようになればと考えています。

■探すセンスを磨いてほしい。最後に三重大学へのメッセージをお願いします。

僕が高校時代から追っていたのは3つです。1つ目は、新規性。まだ誰もやっていないことをやろう！2つ目は、普遍性。時間が経っても色あせない普遍法則を発見しよう！3つ目は、汎用性。つまり、普遍法則を利用して、時代にマッチし変幻自在に適応させよう！

インタビューでは、たくさん歌を歌っていただき、その美声に圧倒されました。掲載できないのが非常に残念です。弓場先生ありがとうございます。

弓場 徹先生 PROFILE

新発声法「YUBAメソッド」を構築し、世界ではじめて科学的な音痴矯正法を開発。2005年までに1000以上の成功例があり、ジャンルを問わず国内外の多くのプロ歌手の指導も行う。携帯電話サイト「ゴルゴンゾーラ」のコンテンツ「奇跡のカラオケ教室」で、YUBAメソッドとコブクロの「桜」のレッスンを紹介。

主な著書として「奇跡のボイストレーニングBOOK: 声美人・歌上手になる 効果てきめん世界が認めた「YUBAメソッド」(主婦の友社, 2004)」「歌のうまい子になる 超簡単ボイストレーニング (PHP研究所, 2005)」などがある。

HP: <http://www.good-voice.com>
ゴルゴンゾーラ: <http://zola.jp/> (携帯電話専用)

MUSE

弓場先生の研究成果の一部はMUSEでご覧いただけます。

弓場徹 検索 MUSE: <http://muse.mie-u.ac.jp/>

これだけは読んでおきたい!! 各 学部の先生からのオススメ本

READING LIST

共通教育 中田康行先生

スウィフト 作: 平井正穂 訳
『ガリヴァー旅行記』

岩波書店 1980.10
〔所在〕 図・開架・PB / 図・書庫
〔請求記号〕 933/Sw 7

この作品は子供向けのお話ではない。この作品は「小人国」、「巨人国」、「ラビュタ等の国」、「馬の国」への旅の四部からなる。この作品は人間への風刺がテーマである。特に「馬の国」でのガリヴァーはヤフーと呼ばれる下劣な動物であり、馬が完全な理性的動物として描かれる。完璧に理性的な馬とのやりとりを通してガリヴァーは現実の人間世界がいかに醜いかを考えさせられる。一読を勧めたい。

生物資源学部 伊藤進一郎先生

ニコラス・マネー 著: 小川 真 訳
『チョコレートに減じたカビ・キノコの話: 植物病理学入門』

築地書館 2008.8
〔所在〕 図・開架・図書 / 生・森林生物循環学
〔請求記号〕 615.6/Mo 33

世界的に新インフルエンザの流行が問題となっているが、植物の世界にも病気の流行が大きな問題を起こしてきた。例えば、アイルランドで発生したジャガイモの腐敗(疫病)によって、100万人以上の人が飢餓で死亡し、多くの人がアメリカに移住した。原本のタイトルは「菌類の勝利」、菌類に振り回される人間と研究者の話が紹介されており、植物病理学の入門書としても優れた著書である。

工学部 木村文隆先生

D.A.ノーマン 著: 野島久雄 訳
『誰のためのデザイン?: 認知科学者のデザイン原論』

新羅社 1990.1
〔所在〕 図・開架・図書 / 図・書庫 / 看護学習ホール / 工・建築計画
〔請求記号〕 501.8/N 96

身の回りのパソコンや家電製品から巨大装置にいたるまで、使いやすく、ミスを生みにくいデザインが求められるが現実にはそれが徹底されていないこと、それをどう改善すべきかを認知心理学者が明らかにした古典的著作。「ユーザ中心のシステム設計」に関心のある情報、電気、機械、建築分野のデザイナーばかりでなく、使いやすい製品を求めめるすべての利用者にとって一読の価値がある。

医学部 成田有吾先生

アリス・ウェクスラー 著: 武藤香織, 額賀淑郎 訳
『ウェクスラー一家の選択: 遺伝子診断と向きあった家族』

新潮社 2003.9
〔所在〕 図・開架・図書
〔請求記号〕 493.75/W 64

ハンチントン病は常染色体優性で、特徴的な不随意運動、進行性の精神症状、認知機能障害を呈し、現時点では有効な治療法がない。白人では有病率4~8/10万人だが、本邦では1/10程度である。著者は、大家族の一員で「原因遺伝子」の追求に挑み、次いで自身の「発症前遺伝子診断」という問題に直面する。子それぞれに確率50%で浸透する過酷な神経難病のat risk者の心情は、医療職ならずとも胸に響く。

教育学部 石谷寛先生

朝永振一郎 著
『鏡のなかの世界』

みすず書房 1965.12
〔所在〕 図・開架・図書 / 図・書庫
〔請求記号〕 049/To 62

湯川秀樹に続く日本人2人目のノーベル物理学賞受賞者の著者が折に触れ、さまざまな事柄についてつづつた酒脱な随筆集。平易な文章に著者の飾らない性格が良く現れている。個人的印象が強いのは、第2次世界大戦直前のドイツでの研究生活の記録「滞独日記」である。危機的時代の焦燥感や、自らの才能への「劣等感」にさいなまれながら異国の地で研究を続ける若い研究者の姿が想像される。

人文学部 藤本真理先生

カズオ・イシグロ 著: 土屋政雄 訳
『わたしを離さないで』

早川書房 2006.4
〔所在〕 図・開架・図書 / 人・英語米文学
〔請求記号〕 933/I 73

美しい環境に囲まれ外界から隔絶された学校。生徒は皆、ある特殊な役割を担うべく生まれた子供たち。卒業生キャシーの回想によって描かれる一見穏やかな子供時代と、徐々に明らかになる「特殊な役割」の内容。本書からは、人間らしさとは、生(命)とは何かなど、読み手によって異なることを受け取ると思いますが、自分なりに読み取ったことをしっかり考えるきっかけになればと思う。